

再生可能エネルギーゾーニングマップ（案）に対する
パブリックコメント（市民意見募集）の結果について

1 実施状況

- (1) 募集期間 令和6年1月15日（月）から令和6年2月9日（金）まで
- (2) 意見提出者数 3人
- (3) 意見件数 5件
- (4) 提出方法

提出方法	直接書面	郵送	ファックス	電子メール	計
人数	—	—	—	3人	3人

2 提出された意見要旨とそれに対する市の考え方

番号	意見要旨	市の考え方
1	(ゾーニングマップ) 環境保全エリア内にポイントされた配慮調整エリアの地点データがある（沼ッ原湿原、白笹山山頂、三本槍岳山頂）が、その意図・目的はなにか。	沼ッ原湿原、白笹山山頂、三本槍岳山頂のポイントは環境省自然環境保全基礎調査において「自然景観資源」として収録されている情報で、景観への配慮が必要であることから、配慮調整エリアとして整理しました。 環境保全エリア内に存在する配慮調整エリア（地点データ）については環境保全エリアの条件が優先されますので、その旨を解説書（p27、p36）に追記します。
2	(ゾーニングマップ) 落雷による発電設備の故障が想定されるため、落雷データのうち確率の高い場所を GIS に組み入れた方が良いのではないかと。	落雷情報については、①詳細な地図情報の入手が難しいこと、②落雷位置は不確実性が高く再エネ立地を完全に排除するエリアを指定することができないこと、③落雷対策を講じることで影響を低減することができることから、ゾーニングマップには反映していません。ご意見については今後の運用の際の参考とさせていただきます。
3	(ゾーニングマップ) 関谷断層も考慮して、GIS のレイヤーに組み入れた方が良いのではないかと。	関谷断層については、直ちに再エネ事業の実施に影響を与えるものではないと考えます。ご意見については今後の運用の際の参考とさせていただきます。
4	(解説書 22、23 ページ) 「3.2 収集・整備した環境情報：事業に適した場所」及び「3.3 GIS による解析：<GIS による解析イメージ>」に「電力送電線へのアクセスの利便性」を追加してはどうか。	電力送電線へのアクセスの利便性は、事業を検討するうえで重要な要素ではありますが、自家消費型の発電設備等、電力送電線へのアクセスの利便性に左右されない発電方式も想定されることから、ゾーニングマップには反映していません。
5	(解説書 45 ページ) 導入ポテンシャルの試算について、導入費用を見据えた電気料金を試算する必要はあると思うが、ランニングコスト（維持・修繕費）や設備の更新に	設備導入に当たっては、ランニングコスト（維持・修繕費）や設備の更新費用も含めて検討する必要がありますが、これらは各地点の詳細な条件や採算性などを基に、個別の事業計画において検討

	れだけの費用が必要となるのかも踏まえて試算をした方が良いのではないか。	する必要があると考えます。
--	-------------------------------------	---------------